

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0193600111), 法人名 (特定非営利活動法人ほのぼの), 事業所名 (グループホームほのぼの ユニット2), 所在地 (白老郡白老町川沿1丁目553番地-9), 自己評価作成日 (令和 1年 12月25日), 評価結果市町村受理日 (令和2年2月17日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、住宅街の中心に位置し緑豊かで漁村の町であるため、ご家族様や知人の方からの農作物や新鮮な魚など差し入れも多い。冬になると、地域の方による除雪のお手伝いもあり皆様を支えられ交流を育んでいる。また、木造平屋作りの建物で木調を基本とし天井も高く日差しが明るく、利用者様は個々の生活歴や能力に合った掃除・食事の盛り付けや片付け・干しもの他さまざまな役割を職員と一緒に、できる能力を損なわない張り合いのある日々を過ごして頂けるよう支援している。併設されているデイサービスとも交流を持ち地域ながらの馴染みの関係を大切にしている。医療に於いても協力医療機関が近く、主治医の往診や定期受診のほか体調変化時は直ぐに駆け付けてくださったり、看護師による日々の訪問など利用者様やご家族様からも信頼が持てる対応に心掛けています。穏やかな生活環境の中で一人ひとりが自分らしさを維持した当たり前の暮らしが出来るように、寄り添いながら思いを受け止め職員、利用者様が円を描けるような支援をおこなって行こうと思います。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=0193600111-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和 2年 1月23日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Empty table for external evaluation comments.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・事務所・各ユニットに基本理念とケア理念を掲げて夕礼時に職員が独唱し、把握し理念に基づいた介護に心掛け、理念を共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会長を中心に連携を図り資源ごみや行事など細かい事まで相談やお手伝いを通して繋がりをもち地域との交流を育んでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の研修会を始め「認知症の人と家族などの集い」に参加し、困りごとや知りうる知識を生かし地域のために貢献している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月一回の開催時には、行事やレク、ヒヤリハット他取り組んで来た事を報告しご家族様、町内会長、包括、有識者他話し合いご支援を頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当の方には、多方面からの相談や取り組みについて、都度連絡を取り合い協力、ご指導して頂き、円滑な関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会の会議を開催している。行動や言動を制限しないようにし、検討し記録に残している。スピーチロツクに対しても研修し拘束ゼロをめざしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	行政が行っている、高齢者虐待防止ネットワーク会議に参加し、職員にも学んだ事を職員会議や研修会で学ぶ機会を設け再度防止に努め、検討会議も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在制度を活用されている方もいるが、行政で行う制度の研修会に参加し、職員に学ぶ機会を設け話し合いの場を設けている。今後活用なさる方に於いても支援を続けて行く。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居説明段階で、心配ごとや問題点に於いては、理解されるように細かい説明させて頂き入居なさってから利用者様、ご家族様と相談のうえ安心して頂けるように配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に出来るだけご家族様には、事務所で日々の様子や要望に応えられるよう声を掛け話の場を設けている。職員も同様ユニット内で利用者様やご家族様の思いを傾聴し反映に繋げている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、夕礼時、さまざまな場面で職員の思いや意見、希望、提案を聞き取りそれを管理者、介護支援専門員、他職員と話し合い資源とし反映し実践に活かしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々の能力や能力を生かし張り合いが持てるように日頃から職場環境、チームワークを大切に出来るだけ平等に研修会に参加して頂き得た知識を反映出来るよう支援している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には、勤続年数や個々の力量に見合った研修により多く、参加して頂き、日々の勤務の中でも、利用者様に寄り添いながら研修の成果を発揮し、活かせるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とは常に解らない事や、気になる事を電話や直接訪問し相談したり知り得た知識を教えて頂いたり、研修会にも参加させて頂きサービスに繋げた取り組みをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や申し込みの早い段階で困り事や不安点を聞き取りご本人様やご家族様と話し合いながら関係性を築くようにサービスの提供に努め、ご本人様とも面識を持ち安心感に配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様には、サービス利用開始前の段階で、悩み事や困り事の聞き取りをし、どのように解決して行く事がご本人にとって良いのか話し合い信頼関係に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方やご家族様にとって何が優先なのかを見極めながら、話し合いや支援の必要性の順位に応じながら、更に必要な資源を活用しながらご相談に応じている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の能力や生活歴に着目し無理なく楽しみながら日々が送れるように生活リハビリや時には、人生の先輩とし相談ごと協力を頂いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には、家族会を始め各行事ごとに可能な限り一緒に参加して頂き協力や支援をして頂いている。毎月発送している「ちょこっと便り」通し日々の様子を共通の話題とし関係が途切れないようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	古い友人や、宗教関係、昔の職場などご本人様が築き上げた関係が途切れないよう、電話やお手紙、面会時での「必ずまた、来てください」を添えたお見送りなど気を配っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	15:00のおやつの後、ほぼ全員が丸テーブルを囲み「昔懐かしスターカルタ」やトランプ、絵合わせなど思考し楽しんでいる。気の合う同士ソファや自室に招いたり思い思いの交友関係を支えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになられた方のご家族様や自宅に戻られたご家族様など、今でも連絡を取り合い困り事の相談に乗ったりお手紙や電話のほか、使用しなくなった物を寄贈して頂いたり繋がりを持っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様が出来る事や望んでいる事の把握を普段からの会話や表情などから読み取りながら、意思に添えるように傾聴に心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今迄の生活歴や暮らし方が出来るだけそのまま継続出来るよう宗教関係や日課での趣味など活かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調や心身の状況に応じ過ごし方の変化を把握し、無理なく生活リハビリやレクを楽しみ、休憩し継続出来るよう看護師の協力を仰ぎ支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の思いに添えるようご家族様や職員、など都度カンファレンス・モニタリングを行い医療協力者とも相談のうえ現状に合った計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録・業務日誌・医療記録を毎日記録してそれを元に情報を共有し、計画書に沿った支援を行っているが、変化が伴う場合は見直しをし実践にいかしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃より、ご家族様には些細な課題に対し相談し協力体制を取り合いながら支援の向上に向けた取り組みに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その方の力量や思いに応じ自治会行事に参加する機会を設けている。小さなお子様や若いお母様方とのふれあいお話を通して楽しみを持たれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様の希望のかかりつけ歯科や眼科・皮膚科の付き添いの支援や協力病院との連携を常に行い、情報を提供し関係を深めながら医療協力を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連日、協力医療機関の看護師が来訪し職員と連携し健康管理を把握している。日々の体調変化は都度、主治医に報告され状況に応じた処置をされ内容など周知しなければいけない事は連絡ノートの情報を活用している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された、初期の段階で病院関係者の生活相談員と連絡を取り情報提供に努め、かかり付け医師や看護師にも状況に踏まえた対応が準則に行なえるような関係を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	週末期に於けるあり方は主治医と検討、連携の下ご家族様とお話の場を設けている。職員も、カンファレンスや研修会始めとしたシュミレーションをしている。ご家族様にも終末期には協力を頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	協力病院の看護師に指導して頂いたり、消防主催の救命講座に参加し事故発生時に備えての研修参加を待てる機会を設けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の有識者や町内会長、を始め推進会議時には、話し合う場を設け検討にあたっている。また、消防の方とも避難誘導に於ける方法など訓練をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人様のプライバシーや傷つく事が無いよう配慮した声掛け寄り添いケアを行い、入浴など出来る限り同性介助に心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の思いや言動を個人的に聞き取る状況を配慮し、自己決定を引き出し出来る限り思いが叶うような支援に繋げている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のその日の体調や気分に合わせて対応を優先し、その人らしさやペースに合った一日が、穏やかに過ごせるよう支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の行き付けの美容院にはご家族様の協力もあり、ここでも納得が行く美容師さんをお願いしたり身だしなみにも配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人に合った生活リハビリとし職員と一緒に食事の準備・後かたづけのお手伝いや誕生会、レクリエーション、行事など多彩に嗜好の料理の案に参加し楽しみを持たれている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は個別に記録し、看護師に報告している。栄養状態に問題がある方など経腸栄養剤を処方して頂いている。また、状況により乳製品も配達してもらい排便コントロールに活かしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアは欠かさず行いご本人様の力、介護員の支援に応じられない場合はかかりつけ歯科医に相談し対応して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを記録し、看護師と相談のうえ、ポータトイレの活用や時間によるトイレ誘導など多方面から支援に向けて検討しながら対応している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便パターンを記録し、常に看護師に報告し腹部マッサージや食材による食事の工夫を状況に応じ対応し、更に看護師による医療的処置を施して頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	決められた入浴日以外でも、急用や状況に配慮し、時間や日にちをずらしたり変更したりその方の体調や状況変化に合わせての支援をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の一日の生活リズムに合わせてお昼寝をされたり、休息をしている。夜間入眠しづらい時には傾聴や足浴、暖かい飲み物などを提供し安心出来るような支援をこころ見ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別に薬情報や検査データを受診記録に保管し随時、薬の変化や伴う副作用・副作用食品を職員が周知し共有出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ほぼ毎日、色々と思いを凝らしレクリエーションを行い楽しんで頂いている。また、それぞれに見合った力を活かした生活リハビリを役割とし分散して活躍して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様との急な外出や希望に沿った集会など普段より多彩な方面より支援している。更に季節に合った外出行事やドライブ、外泊など出かける機会を体調が許せる範囲で支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力や経済事情に応じ所持される方や事務所金庫で預かり出し入れされている。必要に応じ支援し、ご本人様やご家族様も把握可能なように金銭出納ノートに記載し毎月送付している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様には都度、要望に応じ電話の貸し出しをしている。事務所に用事の電話も終わり次第ご本人様にも取り次いで、声のやり取りをしたりお手紙の返信もしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所はすべて平屋作りで各ユニット、天井も高く光も差し込み明るく、ワンフロアにすべてが備えてあり居室から各共用の場の動線が短く使い勝手の良いホールで各箇所にも何時でも休憩できる。また、四季折々の展示物や飾り付けも工夫をこらしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う同士で居室でテレビをみながら、お茶をしおしゃべりをされたり、一人ラジオを聴いたりその人の気分に合わせた支援を協力的におこなっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その方の今迄継続されていた馴染みの品や、思い思いの妨げにならなく危険がないようにご本人様、ご家族様と検討しながら配置や工夫をしご本人様が居心地の良いように支援をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所は平屋作りで入口にはスロープがあり手すりもある。ユニット内各箇所にも手すりも備えバリアフリーの木造、床暖で車椅子の方にも安心出来、安全性のあるフロアです。		